

認定番号： 129

サポーター名：有限会社流域測量設計事務所

▶実施内容の分類 (1) 企業等のWeb ページ、SNS、広報誌、ポスター等への情報掲載

 取組
実績

(1) 自社ホームページに、流域治水の概要と国土交通省の「流域治水の推進」の周知を行った。
また、国土交通省の「流域治水オフィシャルサポーター制度」のホームページサイトへのリンク先バナーを合わせて掲載した。

有限会社 流域測量設計事務所



取り組み内容に関する問い合わせ先
info@ryuiki-ss.jp

流域治水とは、河川流域全体を対象にした総合的な治水対策のことです



従来の河川工事や堤防の整備だけでなく、流域全体の土地利用や都市計画、環境保護などを含めた広範な対策を講じることを目指しています。これにより、洪水や浸水被害を減少させるだけでなく、流域の環境保全や持続可能な発展を促進することができます。

例えば、盛土等規制法や特定都市河川法などの法律が流域治水の一環として制定されています。

参照：国土交通省Webサイト「流域治水の推進」

流域の上流域から俯瞰すると、治水において森林は非常に重要な役割を果たします。森林は以下のような機能を持っています。

1 水の保持と浸透

森林の土壌は水を保持し、ゆっくりと浸透させる能力があります。これにより、降雨時の急激な水流を抑え、洪水のリスクを減少させます。

2 土壌の安定化

森林の根は土壌をしっかりと固定し、土壌の流出を防ぎます。これにより、土砂災害のリスクを減少させます。

3 生態系の保護

森林は多様な生物の生息地を提供し、生態系の保護に寄与します。これにより、流域全体の環境保全が促進されます。

4 気候調整

森林は二酸化炭素を吸収し、酸素を放出することで、気候調整に寄与します。これにより、流域全体の気候が安定します。

5 景観の保護

森林は美しい景観を提供し、観光資源としても重要です。これにより、地域の経済発展にも寄与します。

6 林業の衰退は流域治水に大きな影響を与えます。

森林は水の保持と浸透、土壌の安定化、生態系の保護、気候調整、景観の保護など、流域治水において重要な役割を果たしています。

例えば、森林が減少すると、土壌の保持能力が低下し、降雨時の急激な水流を抑えることが難しくなります。また、土壌の流出が増加し、土砂災害のリスクも高まります。さらに、生態系の保護が難しくなり、流域全体の環境保全が損なわれる可能性があります。

林業の衰退は、流域治水の効果を減少させるだけでなく、地域の持続可能な発展にも悪影響を及ぼすことがあります。したがって、森林の保護と林業の振興は、流域治水において非常に重要です。

(自社HP)